

学研高山地区第2工区 地権者の会だより

第13号 令和8年9月

『令和8年度総会』を開催しました。

学研高山地区第2工区地権者の会令和8年度総会を、生駒市北コミュニティセンター大ホールにて開催いたしました。

総会には、地権者(代理人含む)482名が出席(うち委任状318名、議決権行使105名)し、生駒市長の挨拶と令和7年度の活動報告のあと、議案について審議し、議案はすべて賛成多数で承認されました。また、現在の学研高山地区第2工区の事業状況について事務局から報告があり、「ポスト万博シティにおけるけいはんな学研都市と学研高山地区第2工区」について元経済産業省近畿経済産業局 石原康行様に講演いただきました。なお、議案につきましては、ホームページ又は会員の皆様へ事前にお送りした議案書をご覧ください。

開催概要

開催日：令和8年8月2日(日) 13:00～14:30

1. 開会
2. 議長選出
3. 令和7年度活動報告
4. 議事 第1号議案 学研高山地区第2工区地権者の会令和8年度活動計画について
第2号議案 学研高山地区第2工区地権者の会役員の選任について
5. その他
 - ①学研高山地区第2工区の事業状況について
 - ②講演 元経済産業省近畿経済産業局 石原 康行氏
「ポスト万博シティにおけるけいはんな学研都市と学研高山地区第2工区」

■市長あいさつ



災害に強い立地を活かした東西軸の実現を

国会にて副首都法案が成立されました。大阪が副首都としての強力な候補となることが予想されます。国家的プロジェクト「けいはんな学研都市高山地区」は災害に比較的強いという特性を持つこともあり、副首都としてのバックアップ機能を担うことができる地域と考えています。万博会場となった夢洲と学研高山地区は大阪メトロ～近鉄けいはんな線と乗り換えずに往来できる東西軸の観点からも、本工区は重要な位置づけだと思っています。

南エリアでは、事業の具体化が進んでいます

先行地区となる学研高山地区南エリアでは、業務代行予定者が決まり、具体的な個別の議論が始まります。南エリアだけではなく、皆様の理解を得ながら進めていきたいと思っているので、ぜひご支援いただきますようお願いいたします。

地権者の会 令和8年度活動計画

第1号議案の令和8年度活動計画について、賛成多数で承認されました。

活動内容（会則第6条）	具体的な取組み
地権者意向の把握	○個別地区（南エリア、ゲートエリア）での意向結果を基にした高山地区全体での傾向把握
まちづくりに関する調査・研究	○個別地区（南エリア、ゲートエリア）での事業計画案、基本計画案等の取組み内容を共有することによる調査・研究 ○地権者に事業への理解を深めていただくため、地権者の会だよりなど活用し、区画整理事業等に対する勉強会などを行う
まちづくりに関する連絡・調整	○令和8年度地権者の会総会及び役員会の開催 ○全体地権者の会と個別地区地権者組織との連携に努める
まちづくりに関する広報及び啓発	○適宜、地権者の会だよりの発行・配布を行う ○地権者の会ホームページを活用し、地権者の意識醸成に努める ○地権者の会だよりの配布に合わせ、地権者の会への加入促進を行う

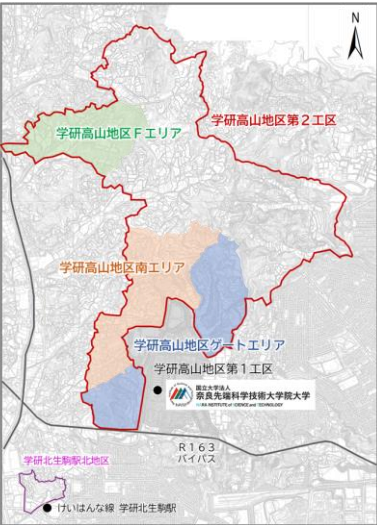
地権者の会 役員の選任

第2号議案の地権者の会の役員の選任について、賛成多数で承認されました。

有山正彦	久保國子(代理:久保昌城)	西井恵司	山本利昭
稲垣武司	久保幸作	古川武良	吉岡照子(代理:吉岡正純)
岩前剛充	白川久一	古川佳昌	上武建設株式会社
岩松佑治(代理:岩松信子)	滝本康司	松山治幸	生駒市
逢阪 充	田中 彰	村田卓司	
大谷俊夫	吉川愛子(代理:谷口隆一)	森田起一	
久保左元	中田建彦	山岡正美	

学研高山地区第2工区の事業状況について

事務局から、学研高山地区第2工区の事業状況について説明がありました。



- 学研高山地区第2工区全体
令和7年10月に第2工区に関する奈良県の計画が、令和8年3月に第2工区を含むけいはんな学研都市全体における第5期ステージプランが改定・策定されました。それぞれ、第2工区のマスタープランと方針を同じくし、事業を後押しする計画内容となっています。
また、今年5月には令和6年度・令和7年度に取り組んできた学研高山地区及び周辺地域価値向上事業の報告会が開催されました。
- 学研高山地区南エリア
令和6年12月に土地区画整理準備組合を設立し、事業協力者として一緒に取り組んできた株式会社フジタが令和8年7月に業務代行予定者に決定されました。

■学研高山地区ゲートエリア

令和8年8月2日に開催した地権者の会 令和8年度総会終了後、土地区画整理準備組合設立総会が開催されました。

■学研高山地区Fエリア

まちづくり協議会設立に向けた準備を進めているところです。

■その他

奈良先端大と生駒市は包括連携協定を締結し、まちづくりに取組んできており、今後とも奈良先端大が国の認可を受けている「J-PEAKS」という事業と連動を図ることとしているため、学研高山地区第2工区においても連携・開発を目指します。

■質疑応答の内容

Q. 奈良先端大のJ-PEAKSの取組みについて、海外人材の年間受入数の具体的な人数なども把握したうえで計画に反映するべきではないのか。

A. 奈良先端大の取組みについて、人数など具体的なことは今後確認が必要となりますが、優秀な海外人材を留学生として受け入れて、日本の発展につながるような人材を育成し、成長を促す取組みです。

Q. 草刈業務について、道路沿いの雑草等が道路にはみ出ていることが散見されているので、現在の草刈業務の進捗を教えてください。

A. 2工区内の市有地については、7月から業務に着手していますが、エリアが広いということもあって段階的に草刈を行っているほか、県道沿いも草刈が行われている状況です。

Q. 事業アドバイザーの詳細を教えてください。また、公表はされているのか。

A. 事業アドバイザーについては生駒市ホームページで公表しています。
(奥村組／鴻池組／フジタ／西松建設・一条工務店企業体)

Q. データセンター立地の話が出ていたが、データセンターには電機や水といったエネルギー消費が激しい点などから、海外では建設が中止された例もある。自然環境への配慮も合わせてどのように考えているのか。

A. データセンターのエネルギー消費については他事例の調査などにより把握に努めています。近年は循環型水冷システムなどの新技術の開発も進められています。高山地区は、自然との共生を行うエリアでもあることから、これらの動向も踏まえつつ、都市の持続、事業採算性も合わせたまちづくりが必要だと考えています。

Q. 土地の売買について、不動産業者を名乗る人から連絡が入るが、どうすればよいのか。

A. 先行地区である南エリアでも検討に2年、造成に4～5年かかる見込みである。不動産の売買については、民間同士のことであり、行政が介入することは難しいが、事業が具体化されるにつれ状況も変わるので、個別の状況などは事務局までお問い合わせください。

ポスト万博シティにおけるけいはんな学研都市と学研高山地区第2工区 (元経済産業省近畿経済産業局 石原 康行 氏)

昨年、大阪夢洲で大阪・関西万博が開催されました。この万博で得られた成果を、新しい成果に変えていくことが重要です。そこで私は、けいはんな学研都市が、万博の成果を未来へ引き継ぐ都市、ポスト万博シティになっていただきたいと思います。

けいはんな学研都市は12のクラスターに分かれており、高山地区は中でも、将来最も発展する可能性の高い地域の一つです。大阪経済圏に近い立地に加え、環境のいい場所でもあります。特に、奈良先端大が非常に有効なポテンシャルです。

高山地区は、山林もあれば都市部もあり、さまざまな実証実験が可能です。先端大の学術要素と、高山地区の土地資産をうまく融合させることで、日本や世界の企業が参入する可能性がうまれます。実証実験ができる、さまざまな環境が揃った都市になれば、新しい事業が生まれ、高山が新たな形で注目される地域ブランドとなるのではないのでしょうか。未来に向けた高山地区の発展に期待します。

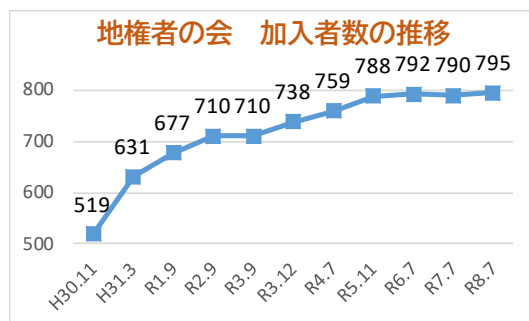


事務局からのお知らせ

■加入率が73.5%になりました。

平成30年11月、519名の地権者により発足して以来、令和8年7月時点で795名が地権者の会に加入しています。

※全地権者数1,081名(令和8年7月時点)



■土地の所有情報が変わられた方へ

下記事務局までご一報いただきますようお願いいたします。

- ・土地の売買や相続等による権利変動が生じた場合
- ・お引越しによる住所変更など連絡先に変更が生じた場合
(特に未加入者の方につきましては、住所変更の連絡をお願いします。)
- ・婚姻などにより氏名等に変更が生じた場合

※相続等により地権者が変更となった場合や、会員資格の有無、自身の所有する土地がどのエリアに該当するかわからない場合など、疑問点がございましたらお気軽に事務局までお問い合わせください。

■地権者の会への加入を募っております。

加入をご希望の場合は、下記に記載の事務局までご連絡ください。

また、地権者の会の詳細につきましては「第2工区地権者の会」をご覧ください。

(<http://www.city.ikoma.lg.jp/0000015693.html>)

発行：学研高山地区第2工区地権者の会

事務局：生駒市 都市整備部 学研推進課

電話：0743-74-1111(内線3870、3871) F A X：0743-74-9100

E m a i l：chikensyanokai@city.ikoma.lg.jp

